

しち てん はっ き 七 転 八 起

校訓：自主・協同・創造

学校通信 NO. 13
令和3年12月7日

全国学力・学習状況調査の結果

令和3年5月27日(木)に3年生を対象に実施した全国学力・学習状況調査の結果についてお知らせします。本調査については、兵庫県教育委員会が調査結果の公表を行い、この度、三木市教育委員会が三木市の結果を公表しました。これを受け、本校の結果の概要と今後の取組についてお知らせします。

なお、本調査により測定できるのは学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面であることを申し添えます。

校長 高森 伸彦

1 教科に関する結果の概要と課題

【 国語 】

- ・正答率は全国、兵庫県と比較して同程度である。
- ・全国、兵庫県の傾向と同様に、記述式の問題の正答率が選択式、短答式と比べると低い。

(1) 学力に関する状況

- ・話合いの話題や方向を捉え、質問の意図を捉えることはできているが、話す内容を考えるまでは課題として残る。
- ・文章を読んで、文脈に即して漢字を正しく読むことができている。
- ・事象や行為などを表す多様な語句について理解することがおおむねできている。
- ・伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように書くことがおおむねできている。
- ・文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつことに課題が残る。

(2) 指導改善のポイント

- ・文章を読む機会を増やす。(朝の読書活動を推進する)
- ・単元毎に感想文を書くなど作文の機会を増やす。
- ・ディスカッションをするときに主張が相手に伝わっているかを確認しながら、相手の意見の要点も整理させる。

【 数学 】

- ・正答率は全国、兵庫県と比較して同程度である。
- ・記述式の問題の正答率は、全国を上回っている。

(1) 学力に関する状況

- ・整式の加法と減法の計算と具体的な場面で一元一次方程式をつくることができている。
- ・問題場面における考察の対象を明確に捉えることができている。
- ・ヒストグラムからある階級の度数を読み取ることができている。
- ・データを的確に捉え、判断理由を数学的な表現を用いて説明することに課題が残る。

(2) 指導改善のポイント

- ・ペア学習、グループ学習などの話し合いの場をできるだけ多く設定し、数学的な表現を用いて簡潔・明瞭・的確に表現したり、互いに自分の考えを表現し伝え合ったりする力を育てていく活動を充実させる。
- ・数に関する事象を考察する場面で、数学的に説明したり、問題解決の過程を振り返って考えたりする活動を重視する。

2 生徒質問紙調査の概要

(1) 生活に関すること

- ・「朝食を毎日食べる」「毎日同じくらいの時刻に起きる」と肯定的な回答した生徒は90%以上であり、ほぼ基本的な生活習慣は身につけている。しかし、就寝時刻が不規則な生徒が全国や兵庫県と比較して多い傾向が見られた。
- ・「1日当たりのゲームやスマートフォン使用時間数」が全国や兵庫県と比較してかなり多い傾向にある。毎日の起床時刻は同じことから、睡眠時間が少ない生徒が多くいると考えられるため就寝時刻の安定が必要である。

(2) 自分に関すること

- ・「いじめはどんな理由があってもいけない」と肯定的な回答した生徒の割合は約97%であり、規範意識は身につけている。
- ・「人の役に立つ人間になりた」と肯定的な回答した生徒の割合は約93%であり、自己肯定感を高めたいと思っている。しかし、「自分にはよいところがある」と肯定的な回答をした生徒は約72%であり、自己肯定感をさらに高める必要がある。
- ・「自分で決めたことは、やり遂げる」「失敗を恐れなくて挑戦する」と肯定的な回答をした生徒は約80%であり、自己肯定感の高まりにより挑戦する意欲を育む。

(3) 学習に関すること

- ・「自分で計画を立てて勉強している」生徒の割合は54%であり、全国や兵庫県と比較して少ない。家庭での計画的な学習習慣を身につける必要がある。
- ・「学校の授業以外に1日当たり1時間以上勉強をしている」生徒の割合は、全国や兵庫県の約91%に比べ、本校は約80%であり、10%以上下回っている。「休みの日の1日当たりの勉強時間」では、「30分以内、全くしない」の生徒の割合が全国や兵庫県の10%に比べて、18%と高い。日々の学習習慣を身につける必要がある。

3 今後の取組

- ・生徒の自己肯定感を高めるために、個性を尊重するとともに良さを認め合い、生徒の挑戦を支援する取り組みを進める。
- ・「個別の最適な学び」「協働的な学び」を授業改善の柱とし、授業で学んだことを生活につなげていくことができるよう取り組んでいく。
- ・家庭と連携し、タブレットを積極的に活用するなど「みっきいすてっぷ」や「みきっ子家庭学習ガイド」を活用した計画的な家庭学習の習慣を定着させる。